

平成28年産 春野菜の需給・価格の実績

〈 目 次 〉

- ① 春キャベツ P. 2
- ② 春だいこん P. 4
- ③ たまねぎ P. 6
- ④ 春夏にんじん P. 8
- ⑤ 夏はくさい P. 10
- ⑥ 春レタス P. 12

1. 平成28年産春キャベツの需給・価格の実績

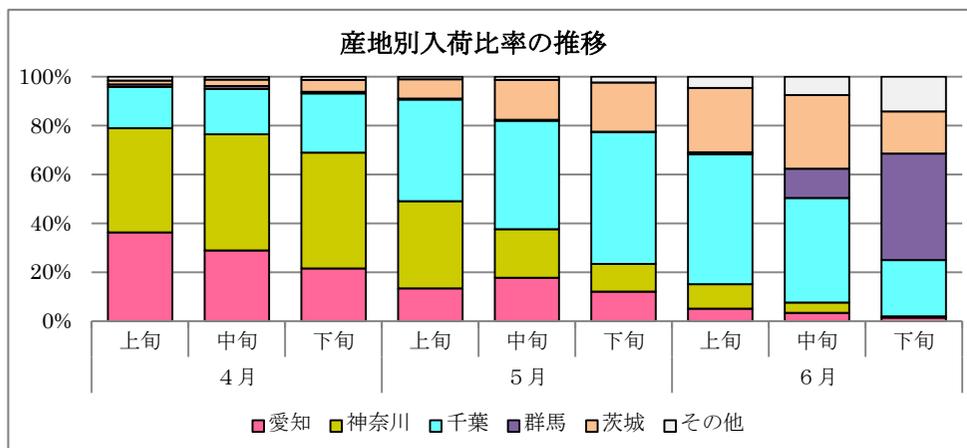
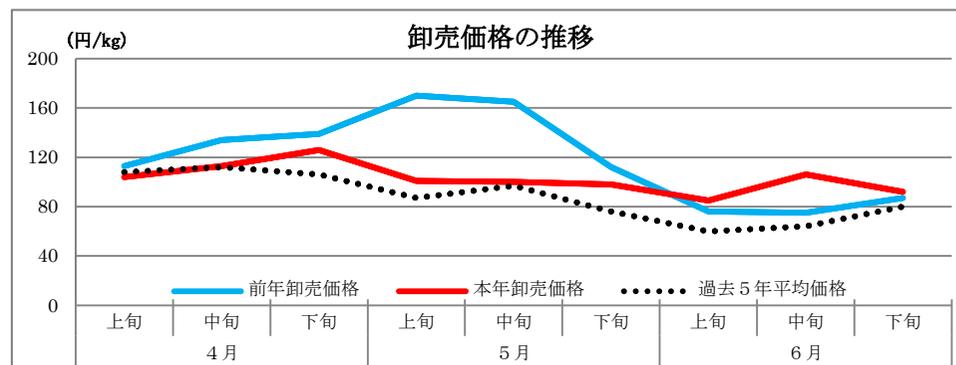
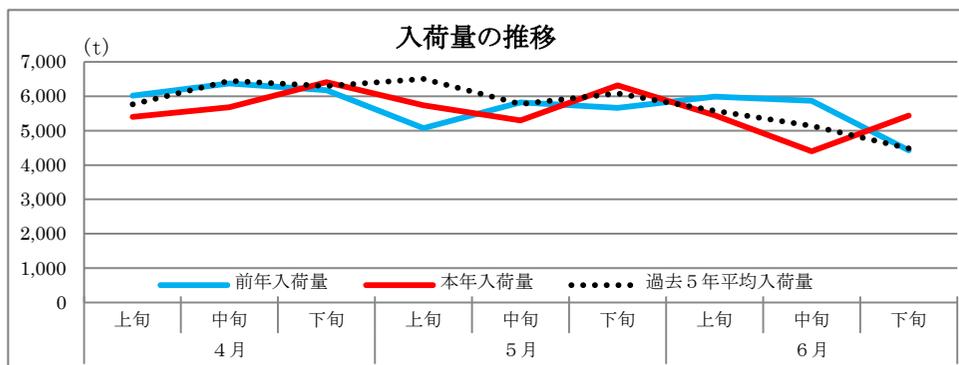
	前回の委員会(28.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春キャベツ (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量については、4月は愛知産の前月までの前進出荷の影響などもあり前年を下回り、5月は神奈川産が適度な降雨により順調な出荷が見込まれるため、前進出荷で少なかった前年を上回り、6月は前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格については、5月は降雨等で入荷が少なく高騰した前年を下回り、4月及び6月は干ばつ等の影響で平年に比べて高かった前年並みと見込まれる。 加工・業務用は、愛知産の残量が少なくなることが予想されるため、4月以降用に価格が安かった秋冬キャベツを貯蔵している業者もある。また、昨年9月の茨城県における大雨の影響で国産が減少すると予想し、早めに中国産を手配した業者が、国産の価格安もあり多くの在庫をかかえたことから、現在、中国産を手当てする動きは鈍い。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、主産地である神奈川産及び愛知産が、これまでの前進出荷の影響により切り上がりが早まったことから、総入荷量は前年をかなりの程度下回った。 5月は、神奈川産が早期切り上がりにより出荷量が減少したものの、千葉産は天候に恵まれ生育は順調であったことから、総入荷量は前年をやや上回った。 6月は、群馬産は天候に恵まれ順調な出荷となったものの、千葉産はこれまでの前進出荷の影響により出荷量が減少したことや、茨城産は降雨による収穫の遅れがあったこともあり、総入荷量は前年をかなりの程度下回った。 期間全体としては、前年をわずかに下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:98%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、高かった前年をかなり大きく下回った。 5月は、高かった前年を大幅に下回った。 6月は、高かった前年を大幅に上回った。 期間全体としては、高かった前年をかなり大きく下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:87%)

(参考1) 平成28年産春キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	90	89	104	113	91	112	91	75	123	98
	94			105			94			
過去5年平均比	94	88	102	88	92	104	98	86	121	96
	94			95			101			

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	92	84	91	59	61	88	112	141	106	87
	89			68			121			
過去5年平均比	96	101	119	116	103	129	142	166	115	117
	106			116			140			

(参考2) 平成28年産春キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

2. 平成28年産春だいこんの需給・価格の実績

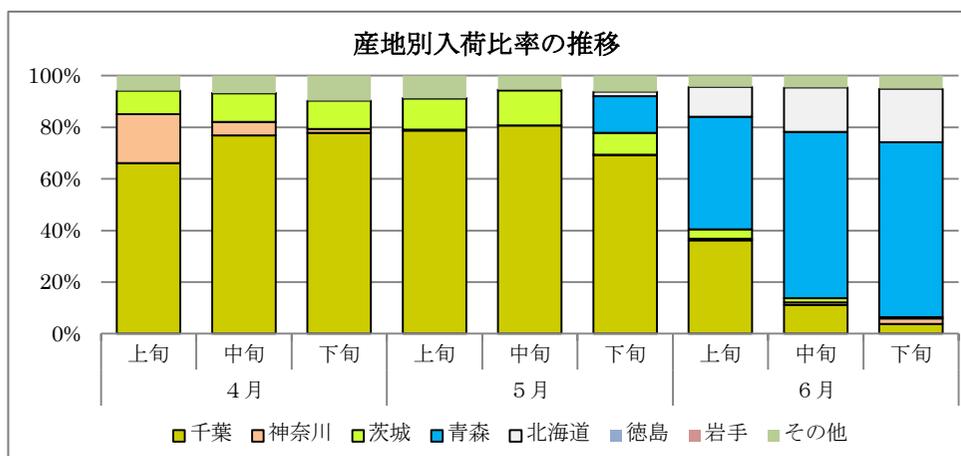
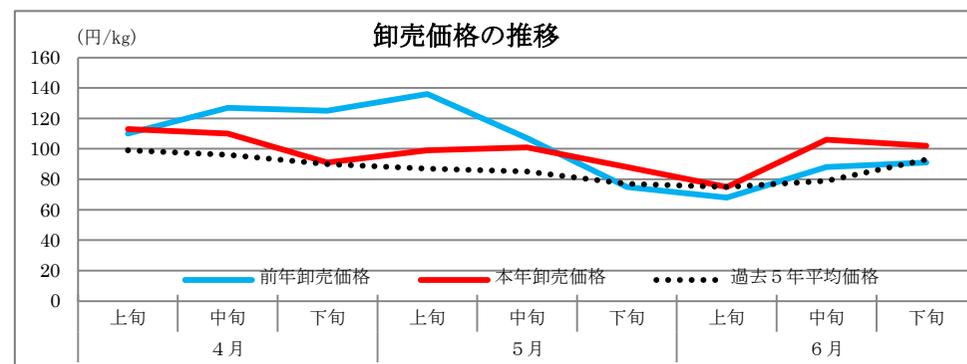
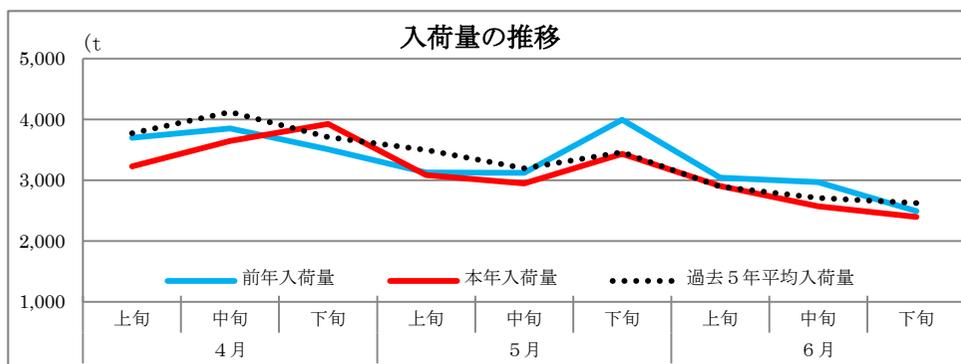
	前回の委員会(28.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春だいこん (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量については、4月及び5月は、主産地の生育が順調なことから、降雨等の影響で少なめであった前年を上回り、6月は千葉産や長崎産が終盤を迎えた中で、北海道産の生育が順調であることから前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格は、主産地において、概ね潤沢な出荷が見込まれることから、4月及び5月は降雨等の影響で高かった前年を下回る見込み。6月は、長崎産が前年の半分程度となるものの、北海道産が順調な出荷が見込まれることから、前年並みの見込み。 加工・業務用は、昨年、千葉産の生産量が少なかったこともあり、契約数量を増加させる業者や、契約産地に早めの定植をお願いして数量を確保する業者が見られる。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から5月にかけては、入荷の大部分を占める千葉産が、は種時の天候不順および生育期の低温により、肥大不良で細ものの発生が多くなったことから、4月は前年をわずかに下回り、5月は前年をかなりの程度下回った。 6月は、青森産が前年並みである一方、出荷の終盤を迎えた千葉県産は前進出荷の影響により切り上がり及早まったことから、総入荷量は前年をかなりの程度下回った。 期間全体としては、前年をかなりの程度下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:94%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、高かった前年をかなり大きく下回った。 5月は、高値で推移した前年をかなりの程度下回った。 6月は、前年をかなり大きく上回った。 期間全体としては、高かった前年をかなりの程度下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:94%)

(参考1) 平成28年産春だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	87	95	112	99	94	86	96	87	96	94
	98			92			93			
過去5年平均比	86	88	106	88	92	99	100	95	91	94
	93			93			96			

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	103	87	73	73	94	117	110	120	112	94
	86			92			113			
過去5年平均比	114	115	101	114	119	114	100	134	110	112
	109			116			113			

(参考2) 平成28年産春だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

3. 平成28年産たまねぎの需給・価格の実績

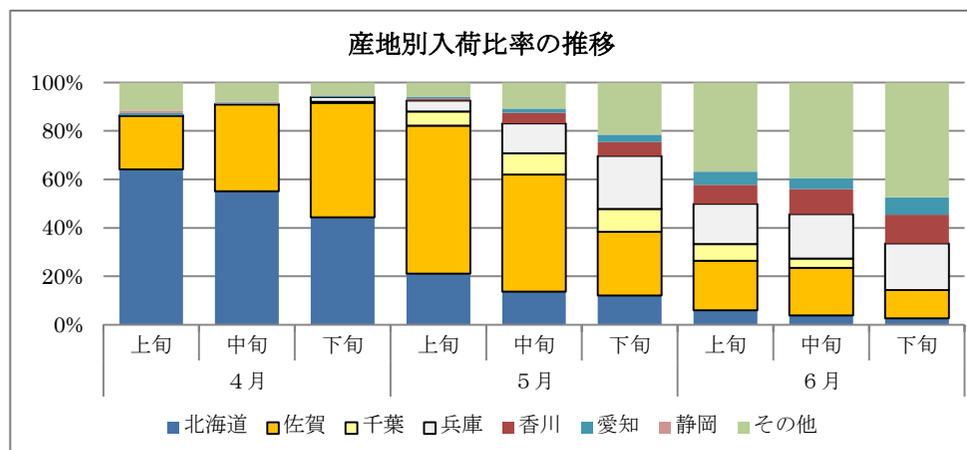
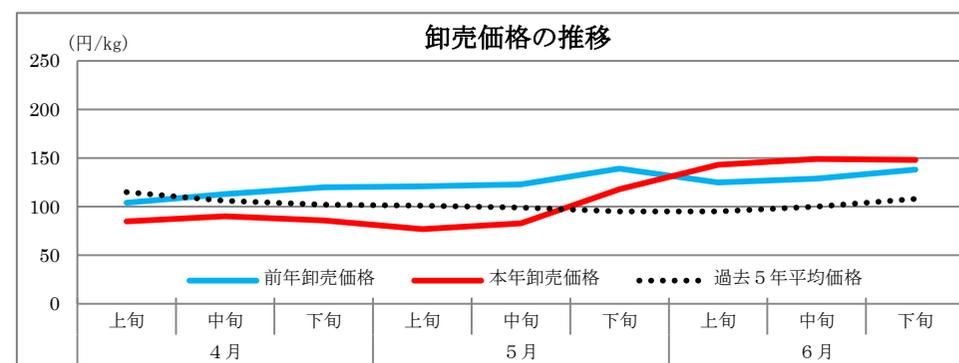
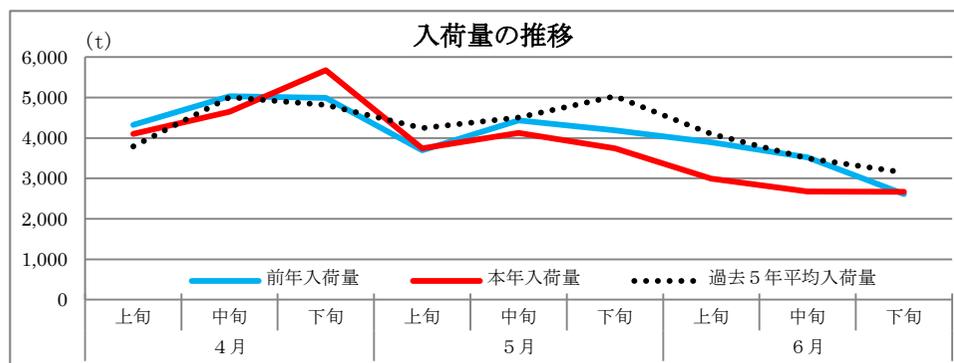
	前回の委員会(28.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
たまねぎ (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量については、4月は北海道産が大玉を中心に計画的な出荷が見込まれ、6月は佐賀産を中心に順調な出荷が見込まれることから、前年を上回る見込み。5月は前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格は、期間を通して、佐賀産の不作による入荷量の減少から高かった前年を下回る見込み。 加工・業務用は、中国の一部地域で寒波があり貯蔵物が少ないなか、中国産への韓国からの引き合いも強く、輸入価格が高くなることが考えられる。 国内相場が高くなると、中国産に対する需要が高くなることが考えられるが、自らむき玉に加工できる業者の中には、単価の安いニュージーランド産に切り替える動きが見られる。しかし、加工できない業者は、従来通り中国産で対応するものと考えられる。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、貯蔵物の計画的な出荷となっている北海道産が前年を上回る入荷となった一方で、佐賀産が天候不順により小玉傾向となったことから、総入荷量は前年並みとなった。 5月は、北海道産は引き続き貯蔵物の出荷で前年を大幅に上回ったものの、佐賀産および兵庫産はべと病の発生により出荷量が前年を大幅に下回ったことから、総入荷量は前年をかなりの程度下回った。 6月は、兵庫産、佐賀産および香川産は、べと病の発生により出荷量が減少し、前年を大幅に下回った。 期間全体としては、前年をかなりの程度下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:94%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月及び5月は、前年を大幅に下回った。 6月は、前年をかなり大きく上回った。 期間全体としては、高かった前年を大幅に下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:84%)

(参考1) 平成28年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	95	92	114	101	93	89	77	76	102	94
	101			94			83			
過去5年平均比	108	93	118	88	92	74	73	77	85	90
	106			84			78			

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	82	80	72	64	67	85	114	116	107	84
	77			72			112			
過去5年平均比	74	85	84	76	84	124	151	149	137	101
	81			94			145			

(参考2) 平成28年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

4. 平成28年産春夏にんじんの需給・価格の実績

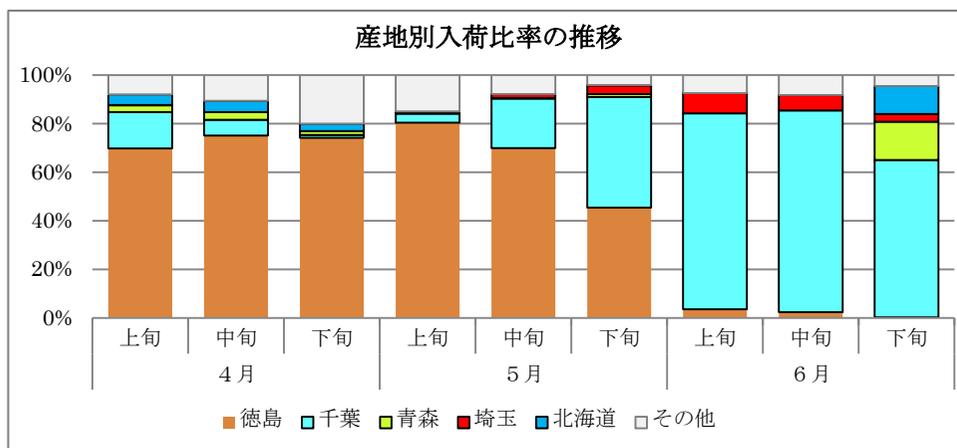
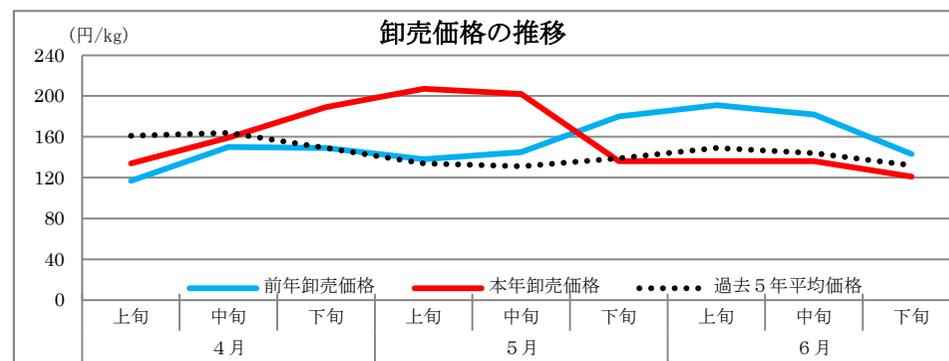
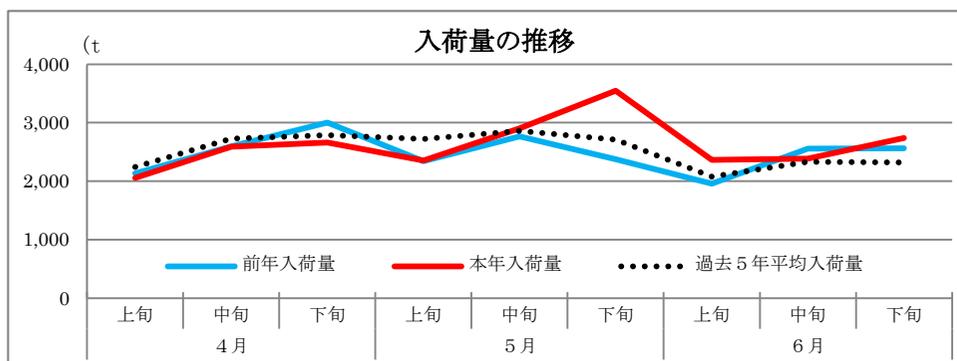
	前回の委員会(28.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春夏にんじん (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量については、4月は徳島産の作付の減少もあり前年を下回る見込み。5月及び6月は、主産地において暖冬の影響もあり、生育も順調なことから、前年を上回って推移する見込み。7月は前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格については、4月は前年を上回る見込み。5月及び6月は、順調な入荷が見込まれ、天候不順から小振りとなり高かった前年を下回る見込み。7月は前年並みの見込み。 加工・業務用は、中国産が曇天・長雨等の影響により生育が悪いことに加え、国内向けや東南アジアからの引き合いが強いことから、輸入価格が高値となっている。 現在、国産の価格が安いことから、加工・業務用も国産で対応しているが、今後は価格が上がる見込みのため、中国産に切り替える業者も出てくる。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、入荷の大部分を占める徳島産が、天候不良による収穫の遅れにより前年をやや下回った。 5月は、入荷の大部分を占める徳島産が、天候が回復し順調な出荷となったことに加え、千葉産が、生育順調で肥大も良好であることから、総入荷量は前年を大幅に上回った。 6月は、入荷の大部分を占める千葉県産が、天候に恵まれ生育は順調で肥大も良好であったことから、前年をかなりの程度上回った。 期間全体としては、前年をかなりの程度上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:106%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、前年を大幅に上回った。 5月は、前年をかなり大きく上回った。 6月は、高かった前年を大幅に下回った。 期間全体としては、前年をわずかに上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:102%)

(参考1) 平成28年産春夏にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	96	100	89	100	105	149	121	93	107	106
	95			118			106			
過去5年平均比	92	95	95	86	102	131	114	102	118	104
	94			106			111			

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	115	106	127	150	139	76	71	75	85	102
	116			115			77			
過去5年平均比	83	97	127	154	154	98	91	94	92	109
	103			131			93			

(参考2) 平成28年産春夏にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

5. 平成28年産春はくさいの需給・価格の実績

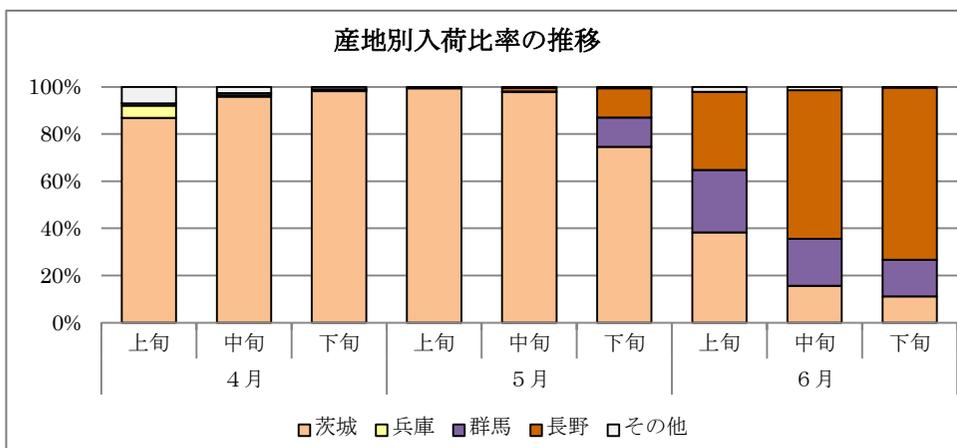
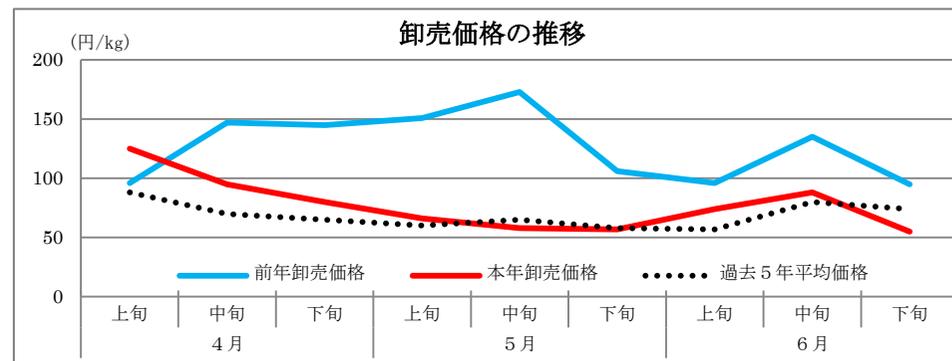
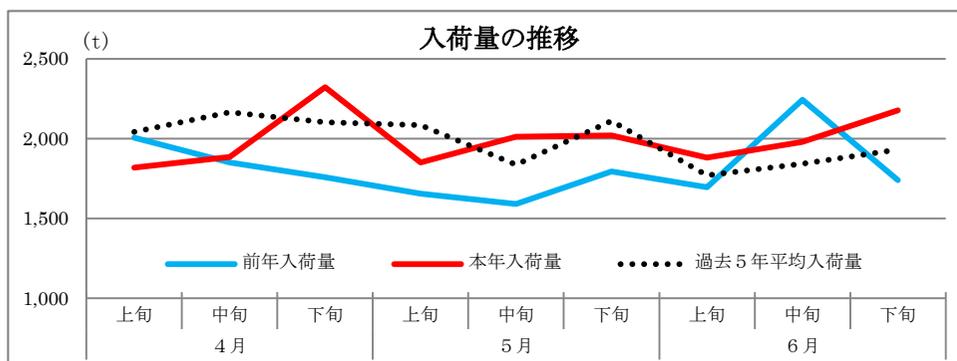
	前回の委員会(28.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春はくさい (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量については、4月及び5月は、茨城産が生育も順調で、作付面積も増加したことから、降雨、低温、日照不足の影響により少なかった前年を上回る見込み。6月は、長野産が前年より早い生育となるなど順調な生育により前年を上回る見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格は、茨城産の作付面積の増加に加えて、長野産の出荷の前進などにより、主産地の入荷が順調であると見込まれることから、期間を通して高かった前年を下回る見込み。 加工・業務用については、秋冬作は品質劣化が著しく、貯蔵できる数量が少ないことから、契約産地に早めの定植をお願いして数量を確保する業者や市場から購入する業者など、様々な対応がとられている。4月中旬までは市場価格が上がる可能性もある。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から5月にかけては、入荷の大部分を占める茨城産が、天候に恵まれ生育は順調であったことから、入荷の少なかった前年に比べ、4月はかなりの程度、5月は大幅に上回った。 6月は、茨城県産はこれまでの前進出荷の影響により出荷量が減少したものの、長野産が生育が良好で順調な出荷となったことから、総入荷量は、前年をかなりの程度上回った。 期間全体としては、前年をかなりの程度上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:110%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から6月にかけて、高かった前年を大幅に下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:61%)

(参考1) 平成28年産春はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	91	102	132	112	126	113	111	88	125	110
	107			117			106			
過去5年平均比	89	87	110	89	110	96	106	107	113	100
	96			98			109			

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	130	65	55	44	34	54	77	65	58	61
	77			42			65			
過去5年平均比	142	136	123	110	89	98	130	110	74	112
	132			98			101			

(参考2) 平成28年産春はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

6. 平成28年産の春レタス需給・価格の実績

	前回の委員会(28.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
<p>春レタス (4～5月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量については、4月は主産地の面積が減少したものの、生育が順調であったことから前年並みの見込み。5月は、長野産の生育が順調であることから前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格については、4月は一時的に高騰した前年を下回り、5月は前年並みと見込まれる。期間を通じて、平年を上回る見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、茨城産および兵庫産が、天候不順の影響による品質低下で前年を下回ったものの、その他の産地で前年を大幅に上回ったことから、総入荷量は、前年をかなりの程度上回った。 5月は、茨城産がこれまでの前進出荷の影響により前年を下回ったものの、長野産は天候に恵まれ生育が良好で順調な出荷となったことから、総入荷量は前年をかなりの程度上回った。 なお、6月は、入荷の大部分を占める長野産が、天候に恵まれ生育は順調で適度な降雨もあったことから、前年をやや上回った。 期間全体としては、前年をかなりの程度上回った。 (4～5月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:108%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、高かった前年を大幅に下回った。 5月は、高かった前年を大幅に下回った。 なお、6月は、前年をかなりの程度下回った。 期間全体としては、高騰した前年を大幅に下回った。 (4～5月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:79%)

(参考1) 平成28年産春レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

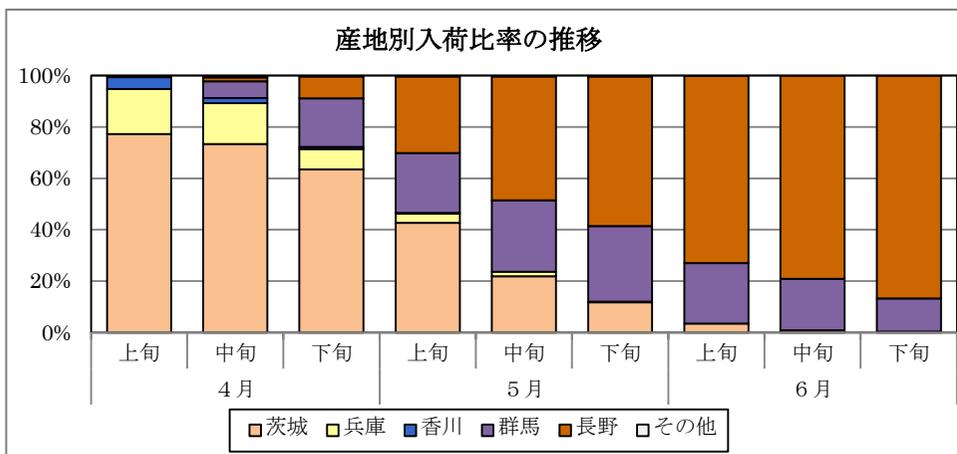
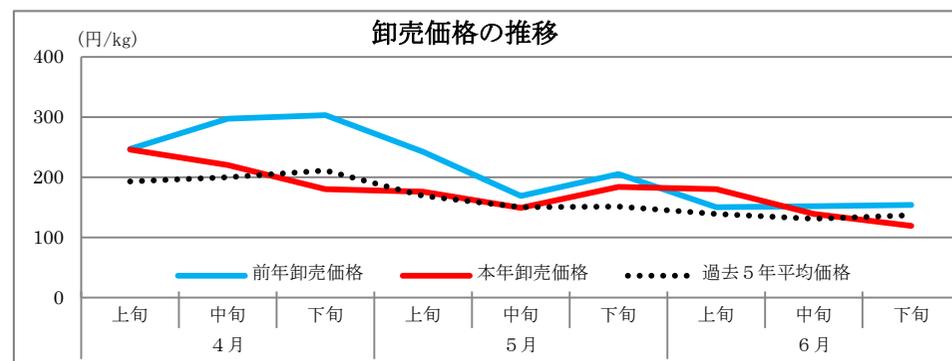
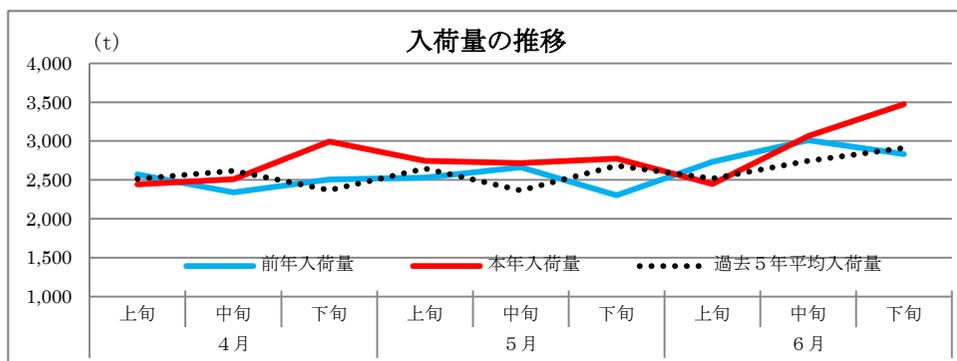
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	95	107	119	108	102	121	90	102	123	107 (108)
	107			110			105			
過去5年平均比	97	96	126	104	115	103	97	112	119	108 (107)
	106			107			110			

※()内は、4月～5月期間計の値。

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	100	74	59	73	88	90	120	91	77	83 (79)
	76			83			93			
過去5年平均比	127	110	85	104	99	122	129	106	87	106 (107)
	106			108			104			

※()内は、4月～5月期間計の値。

(参考2) 平成28年産春レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター